



平成31年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年11月9日

上場会社名 株式会社 ヤマノホールディングス
 コード番号 7571 URL <http://www.yamano-hd.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼最高経営責任者 (CEO) (氏名) 山野 義友
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理副本部長 (氏名) 岡田 充弘
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月9日

上場取引所 東

TEL 03-3376-7878

配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (平成30年11月22日開催予定 機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|-------|------|------|-------|------|------|------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 31年3月期第2四半期 | 7,026 | 8.6 | 86 | 9.7 | 87 | 41.2 | 31 | 94.1 |
| 30年3月期第2四半期 | 7,690 | 38.7 | 95 | 208.3 | 148 | | 534 | |

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 52百万円 (%) 30年3月期第2四半期 963百万円 (%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 31年3月期第2四半期 | 0.92 | |
| 30年3月期第2四半期 | 15.70 | |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 31年3月期第2四半期 | 6,930 | 1,439 | 20.8 |
| 30年3月期 | 7,396 | 1,595 | 21.6 |

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 1,439百万円 30年3月期 1,595百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年3月期 | | 0.00 | | 3.00 | 3.00 |
| 31年3月期 | | 0.00 | | | |
| 31年3月期(予想) | | | | 2.00 | 2.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

30年3月期 期末配当金の内訳 普通配当 2円00銭 記念配当 1円00銭

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|-----|------|-----|------|------|-----------------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 14,200 | 5.0 | 240 | 9.4 | 220 | 17.0 | 120 | 76.1 | 3.53 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

特定子会社には該当いたしません。株式会社みうら及び一般社団法人日本技術技能教育協会を当第2四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|----------|--------------|--------|--------------|
| 31年3月期2Q | 34,497,058 株 | 30年3月期 | 34,497,058 株 |
|----------|--------------|--------|--------------|

期末自己株式数

| | | | |
|----------|-----------|--------|-----------|
| 31年3月期2Q | 456,869 株 | 30年3月期 | 456,869 株 |
|----------|-----------|--------|-----------|

期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|--------------|----------|--------------|
| 31年3月期2Q | 34,040,189 株 | 30年3月期2Q | 34,040,192 株 |
|----------|--------------|----------|--------------|

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・決算説明会の資料及び内容は、決算説明会終了後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 10 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 10 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 10 |
| (追加情報) | 10 |
| (企業結合等関係) | 11 |
| (セグメント情報等) | 12 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における国内経済は、企業収益の改善や雇用環境の改善を背景に景気は緩やかな回復基調が続きましたが、海外政治情勢の不確実性があり、先行き不透明な状況で推移しました。

個人消費も持ち直しの動きがみられるものの、先行き不透明感による消費者の節約志向は依然として根強く、企業間競争も一段と激化するなど、厳しい環境が続いております。

このような状況の下、当社グループでは、従来からの営業施策である「ソフトと価値の提供」によって既存顧客との信頼関係強化に努める一方で、新規客獲得をグループ共通の課題として取り組んで参りました。

当第2四半期連結累計期間の連結業績は、前年同期にスポーツ事業を事業譲渡した影響に加え、DSM事業での拠点統廃合による売上減等により、売上高は70億26百万円（前年同期比8.6%減）となりました。利益面では、スポーツ事業の赤字影響は当四半期にはなくなったものの、新規客獲得に向けての販促費増加や管理体制強化による人件費の増加等により、営業利益は86百万円（前年同期比9.7%減）、経常利益は87百万円（前年同期比41.2%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益については、前年同期に計上した事業撤退損や卸売子会社の株式を一部売却したことによる売却益等の影響が当四半期にはなくなったことにより、31百万円（前年同期比94.1%減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

・美容事業

美容事業では、当上期においては新規出店1店舗と閉鎖1店舗を実施、また平成30年7月1日付で、都内にネイルサロン3店舗を経営する株式会社みうらが連結子会社として加わりましたが、8月から9月にかけて相次ぎ上陸した台風の影響で店舗休業や営業時間短縮が余儀なくされたことによる来店客数減（前年同期比95%）があったこと等により、売上高は9億81百万円（前年同期比4.0%減）となりました。また、新たに子会社となった株式会社みうらにおいて、管理体制のグループへの統合を図るための一時的なコストが発生したこと等もあり、セグメント損失は9百万円（前年同期はセグメント利益22百万円）となりました。

・和装宝飾事業

和装宝飾事業においては、和装小売部門で4店舗の店舗改装を行い、また、きものを着る機会のある場として「きもの会」を全国96会場で開催するなど、新たな顧客創造に努めてまいりました。店外催事においても、従来の既存顧客偏重から新規客を中心とした集客へ取り組んでまいりました。その結果、売上高は51億76百万円（前年同期比1.0%減）となりました。またセグメント利益は、新規客獲得に向けた販促費の増加等があり、1億17百万円（前年同期比34.1%減）となりました。

・DSM事業

DSM事業においては、新商材の開発や販売チャネルの変換を喫緊の課題として取り組んでおりますが、新規客の獲得や販売員補強は依然厳しい状況が続いており、当上期においても事業所統廃合を7拠点行いました。その結果、売上高は8億68百万円（前年同期比17.9%減）となり、セグメント利益0百万円（前年同期比98.1%減）となりました。

・その他の事業

その他の事業では、株式会社ヤマノセイビングの前払い式特定取引業による手数料収益のほか、平成30年8月に設立された一般社団法人日本技術技能教育協会を新たに連結の範囲に含め、着物着付教室の運営に伴う収益を加えております。その結果、売上高は0百万円（前年同期比351.7%増）、セグメント損失4百万円（前年同期はセグメント損失7百万円）となりました。

なお前年同期にスポーツ事業の事業譲渡を実行しているため、第1四半期連結累計期間より報告セグメント「スポーツ事業」を廃止しております。前年同期におけるスポーツ事業の売上高は3億78百万円、セグメント損失は1億36百万円であります。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて4億65百万円減少し69億30百万円となりました。これは主に、現金及び預金が2億55百万円減少、受取手形及び売掛金が45百万円減少、投資有価証券が1億29百万円減少、敷金及び保証金が31百万円減少したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて3億10百万円減少し54億91百万円となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金が55百万円増加、前受金が1億67百万円減少、未払金が56百万円減少、未払法人税等が35百万円減少、繰延税金負債が28百万円減少したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1億55百万円減少し14億39百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益計上による利益剰余金31百万円の増加、剰余金の配当102百万円によるものです。

第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、税金等調整前四半期純利益が73百万円となり、前年同四半期連結会計期間末に比べ5億86百万円減少し18億38百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果支出した資金は、1億50百万円（前年同四半期は1億68百万円の収入）となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益73百万円、売上債権の減少額47百万円、前受金の減少額1億67百万円、法人税等の支払額77百万円があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は19百万円（前年同四半期は24億99百万円の収入）となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出37百万円、差入保証金の回収による収入40百万円があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は、84百万円（前年同四半期は12億85百万円の支出）となりました。

これは主に、短期借入金の増加額60百万円、長期借入れによる収入1億円、長期借入金の返済による支出1億11百万円、配当金の支払額1億1百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の業績予想につきましては、平成30年5月15日公表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成30年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,582,035 | 2,326,789 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,230,798 | 1,184,887 |
| 商品及び製品 | 1,376,305 | 1,389,981 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,622 | - |
| その他 | 234,798 | 202,232 |
| 貸倒引当金 | △15,887 | △15,479 |
| 流動資産合計 | 5,409,672 | 5,088,410 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 964,695 | 989,340 |
| 減価償却累計額 | △652,528 | △678,324 |
| 建物及び構築物(純額) | 312,167 | 311,015 |
| 工具、器具及び備品 | 208,875 | 219,715 |
| 減価償却累計額 | △182,180 | △191,308 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 26,695 | 28,407 |
| 土地 | 37,411 | 37,411 |
| リース資産 | 43,851 | 39,751 |
| 減価償却累計額 | △34,312 | △34,546 |
| リース資産(純額) | 9,538 | 5,204 |
| 建設仮勘定 | 543 | - |
| 有形固定資産合計 | 386,356 | 382,039 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 125,400 | 144,720 |
| その他 | 28,771 | 18,096 |
| 無形固定資産合計 | 154,171 | 162,816 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 431,843 | 302,785 |
| 長期貸付金 | 7,742 | 6,991 |
| 繰延税金資産 | - | 16,285 |
| 敷金及び保証金 | 972,218 | 940,426 |
| その他 | 48,932 | 45,309 |
| 貸倒引当金 | △14,178 | △14,104 |
| 投資その他の資産合計 | 1,446,557 | 1,297,693 |
| 固定資産合計 | 1,987,086 | 1,842,549 |
| 資産合計 | 7,396,759 | 6,930,960 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成30年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1,585,959 | 1,641,007 |
| 電子記録債務 | 286,497 | 263,683 |
| 短期借入金 | - | 60,000 |
| 1年内償還予定の社債 | 22,400 | 22,400 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 165,000 | 180,004 |
| 未払金 | 547,581 | 490,660 |
| 前受金 | 1,631,094 | 1,463,137 |
| 未払法人税等 | 77,260 | 42,022 |
| 賞与引当金 | 93,652 | 81,932 |
| ポイント引当金 | 41,045 | 39,828 |
| 株主優待引当金 | 5,193 | 5,193 |
| 資産除去債務 | 22,334 | 5,882 |
| その他 | 358,824 | 273,828 |
| 流動負債合計 | 4,836,843 | 4,569,581 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 49,400 | 38,200 |
| 長期借入金 | 472,000 | 469,062 |
| 長期末払金 | 97,936 | 91,962 |
| 役員株式給付引当金 | 13,322 | 13,322 |
| 繰延税金負債 | 37,173 | 8,703 |
| 資産除去債務 | 264,790 | 269,962 |
| その他 | 30,061 | 30,401 |
| 固定負債合計 | 964,684 | 921,615 |
| 負債合計 | 5,801,527 | 5,491,196 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 100,000 | 100,000 |
| 資本剰余金 | 979 | 979 |
| 利益剰余金 | 1,397,293 | 1,326,067 |
| 自己株式 | △53,988 | △53,988 |
| 株主資本合計 | 1,444,285 | 1,373,058 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 150,946 | 66,705 |
| その他の包括利益累計額合計 | 150,946 | 66,705 |
| 純資産合計 | 1,595,231 | 1,439,764 |
| 負債純資産合計 | 7,396,759 | 6,930,960 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 7,690,738 | 7,026,974 |
| 売上原価 | 3,733,653 | 3,364,377 |
| 売上総利益 | 3,957,085 | 3,662,596 |
| 販売費及び一般管理費 | 3,861,232 | 3,576,031 |
| 営業利益 | 95,852 | 86,565 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息及び配当金 | 57,244 | 2,793 |
| 受取地代家賃 | 1,632 | 1,086 |
| 受取保証料 | - | 3,134 |
| その他 | 7,352 | 3,186 |
| 営業外収益合計 | 66,229 | 10,200 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 7,791 | 3,908 |
| その他 | 6,219 | 5,806 |
| 営業外費用合計 | 14,011 | 9,714 |
| 経常利益 | 148,070 | 87,051 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 43,858 | - |
| 関係会社株式売却益 | 499,637 | - |
| 特別利益合計 | 543,496 | - |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 205 | 0 |
| 減損損失 | 1,047 | 2,871 |
| 事業撤退損 | 92,718 | - |
| 支払補償金 | 17,437 | 9,644 |
| 店舗閉鎖損失 | 379 | 704 |
| その他 | 10,535 | 650 |
| 特別損失合計 | 122,325 | 13,871 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 569,241 | 73,180 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 37,369 | 42,011 |
| 法人税等調整額 | △2,691 | △217 |
| 法人税等合計 | 34,677 | 41,794 |
| 四半期純利益 | 534,563 | 31,385 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 534,563 | 31,385 |

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 534,563 | 31,385 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 435,293 | △84,240 |
| 為替換算調整勘定 | △6,081 | - |
| その他の包括利益合計 | 429,212 | △84,240 |
| 四半期包括利益 | 963,775 | △52,854 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 963,775 | △52,854 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | - | - |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日) |
|--------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 569,241 | 73,180 |
| 減価償却費 | 45,561 | 43,399 |
| 減損損失 | 1,047 | 2,871 |
| のれん償却額 | 28,134 | 25,016 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | 14,187 | △12,320 |
| ポイント引当金の増減額(△は減少) | △251 | △1,216 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | △916 | △482 |
| 受取利息及び受取配当金 | △57,244 | △2,793 |
| 支払利息 | 7,791 | 3,908 |
| 有形固定資産除却損 | 205 | 0 |
| 有形固定資産売却損益(△は益) | △43,858 | - |
| 関係会社株式売却損益(△は益) | △499,637 | - |
| 事業撤退損 | 92,718 | - |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 9,262 | 47,396 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △246,991 | △11,750 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 160,666 | 31,630 |
| 前受金の増減額(△は減少) | △97,985 | △167,957 |
| その他 | 176,838 | △103,257 |
| 小計 | 158,769 | △72,375 |
| 利息及び配当金の受取額 | 57,244 | 2,794 |
| 利息の支払額 | △7,860 | △3,912 |
| 法人税等の支払額 | △39,655 | △77,269 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 168,497 | △150,762 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △71,262 | △37,322 |
| 有形固定資産の売却による収入 | - | 1,175 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △1,110 | △1,659 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 502 | 261 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入 | 1,183,449 | - |
| 子会社株式の取得による支出 | △57,195 | △4,393 |
| 貸付けによる支出 | △320 | - |
| 貸付金の回収による収入 | 2,129 | 749 |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | △18,206 | △1,394 |
| 差入保証金の回収による収入 | 49,106 | 40,322 |
| ゴルフ会員権の取得による支出 | △4,920 | - |
| 事業譲受による支出 | 1,423,918 | - |
| その他 | △6,977 | △17,376 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 2,499,114 | △19,636 |

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日) |
|---------------------|---|---|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | △45,500 | 60,000 |
| 長期借入れによる収入 | - | 100,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △1,127,800 | △111,407 |
| 社債の償還による支出 | △18,200 | △11,200 |
| 自己株式の取得による支出 | △20,008 | - |
| 自己株式の売却による収入 | 19,028 | - |
| 配当金の支払額 | △64,334 | △101,809 |
| その他 | △29,037 | △20,429 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △1,285,851 | △84,846 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 1,381,761 | △255,245 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,042,388 | 2,093,285 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 2,424,149 | 1,838,039 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1. 配当の支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|--------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 平成29年5月15日 取締役会 | 普通株式 | 68,080 | 2.00 | 平成29年3月31日 | 平成29年6月30日 | 利益剰余金 |

2. 基準日が第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

第1四半期連結会計期間の期首において、卸売事業を営む堀田丸正株式会社及び堀田丸正の子会社4社を連結の範囲から除外いたしました。この結果、当第2四半期連結累計期間において利益剰余金が91,345千円減少しております。

また、当社は平成29年5月18日付で、連結子会社である株式会社マイスタイルの株式を追加取得いたしました。この結果、当第2四半期連結累計期間において、利益剰余金が57,195千円減少しております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)

1. 配当の支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|--------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 平成30年5月15日 取締役会 | 普通株式 | 102,612 | 3.00 | 平成30年3月31日 | 平成30年6月29日 | 利益剰余金 |

(注) 1. 1株当たり配当額には、会社設立30周年記念配当1円が含まれております。

2. 配当金の総額には、信託が保有する自社の株式に対する配当金492千円が含まれております。

2. 基準日が第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(企業結合等関係)

取得による企業結合

当社は、平成30年6月15日開催の取締役会において、有限会社みうらの株式を取得することを決議し、平成30年7月1日付で取得いたしました。なお有限会社みうらは、平成30年8月17日付で「株式会社みうら」へ商号を変更しております。

有限会社みうらの取得

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 有限会社みうら
事業の内容 ネイルサロンの経営

② 企業結合を行う主な理由

美容事業のサービス業態の拡張のため

③ 企業結合日

平成30年7月1日

④ 企業結合の法的形式

対価を現金等の財産のみとする株式取得

⑤ 結合後企業の名称

有限会社みうら（平成30年8月17日付で「株式会社みうら」へ商号変更）

⑥ 取得した議決権比率

100%

⑦ 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価とする株式取得により、有限会社みうらの議決権の100%を取得するためであります。

(2) 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績期間

平成30年7月1日から平成30年9月30日

(3) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

| | | |
|-------|----|----------|
| 取得の対価 | 現金 | 61,975千円 |
| 取得原価 | | 61,975千円 |

(4) 主要な取得関連費用の内訳及び金額

アドバイザー等に対する報酬・手数料 5,800千円

(5) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

① 発生したのれんの金額 44,336千円

② 発生原因

今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力により発生したものであります。

③ 償却方法及び償却期間

5年間にわたる均等償却

(6) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその内訳

| | |
|------|----------|
| 流動資産 | 61,157千円 |
| 固定資産 | 14,779 |
| 資産合計 | 75,937 |
| 流動負債 | 32,565 |
| 固定負債 | 25,733 |
| 負債合計 | 58,298 |

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | |
|-----------------------|-----------|-----------|-----------|----------|-----------|
| | 美容 | 和装宝飾 | DSM | スポーツ | 計 |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,022,307 | 5,229,468 | 1,056,818 | 378,687 | 7,687,281 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 70 | — | — | — | 70 |
| 計 | 1,022,377 | 5,229,468 | 1,056,818 | 378,687 | 7,687,352 |
| セグメント利益又は損失(△) | 22,196 | 178,689 | 10,647 | △136,214 | 75,318 |

| | その他 (注1) | 合計 | 調整額 (注2) | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注3) |
|-----------------------|-------------|-----------|-------------|-------------------------------|
| 売上高 | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 220 | 7,687,502 | 3,236 | 7,690,738 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 5,943 | 6,014 | △6,014 | — |
| 計 | 6,163 | 7,693,516 | △2,777 | 7,690,738 |
| セグメント利益又は損失(△) | △7,878 | 67,440 | 28,412 | 95,852 |

(注) 1 その他には、報告セグメントに含まれない事業セグメントである金融事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額28,412千円には、のれんの償却額△22,800千円、各報告セグメントに配分していない
全社費用51,212千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であ
ります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第1四半期連結会計期間において、当社のスポーツ事業を事業譲渡し、スポーツ事業から撤退したため、前連結
会計年度の末日に比べ、「スポーツ事業」のセグメント資産が1,551,436千円減少しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位：千円)

| | 美容 | 和装宝飾 | DSM | スポーツ | その他 | 全社・消去 | 合計 |
|------|----|-------|-----|------|-----|-------|-------|
| 減損損失 | — | 1,047 | — | — | — | — | 1,047 |

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | |
|-----------------------|---------|-----------|---------|------|-----------|
| | 美容 | 和装宝飾 | DSM | スポーツ | 計 |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 981,776 | 5,176,109 | 868,092 | — | 7,025,978 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 981,776 | 5,176,109 | 868,092 | — | 7,025,978 |
| セグメント利益又は損失(△) | △9,128 | 117,830 | 199 | — | 108,901 |

| | その他 (注1) | 合計 | 調整額 (注2) | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注3) |
|-----------------------|-------------|-----------|-------------|-------------------------------|
| 売上高 | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 996 | 7,026,974 | — | 7,026,974 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 5,669 | 5,669 | △5,669 | — |
| 計 | 6,665 | 7,032,644 | △5,669 | 7,026,974 |
| セグメント利益又は損失(△) | △4,591 | 104,310 | △17,745 | 86,565 |

(注) 1 その他には、報告セグメントに含まれない事業セグメントである金融事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△17,745千円には、のれんの償却額△25,016千円、各報告セグメントに配分していない全社費用7,271千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度においてスポーツ事業から撤退したことに伴い、報告セグメント「スポーツ事業」を廃止しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位：千円)

| | 美容 | 和装宝飾 | DSM | スポーツ | その他 | 全社・消去 | 合計 |
|------|-------|------|-----|------|-----|-------|-------|
| 減損損失 | 2,112 | 758 | — | — | — | — | 2,871 |

(のれんの金額の重要な変動)

当第2四半期連結累計期間において、有限会社みうらの株式を取得し当社の子会社としたことに伴い、「美容事業」セグメントにおいてのれんが44,336千円増加しております。